



館林市「日本遺産」推進協議会設立(令和元年6月)



里沼散策講座(令和元年6・8月、令和2年1月)



認定報告会(令和元年5月20日)



「里沼」シンポジウム(令和2年2月)



「里沼」WEBサイト開設(令和2年3月)



館林まつりパレードPR(令和元年7月)



里沼カヌー体験ワークショップ(令和元年9・10月)



PRトラック車両(令和2年3月)



館林駅東口サイン新設(令和2年3月)



日本遺産サミットin高知(令和元年10月)



「里沼」パンフレット発行(令和元年11月)



かるがも笛ワークショップ(令和2年1月)



歩道橋への横断幕設置(令和2年1月)



各沼サイン新設(令和2年3月)



上三林のささら説明板新設(令和2年3月)



インバウンドニーズ調査(令和元年11月)



着物でお茶席体験ワークショップ(令和元年12月)



つつじが岡ふれあいセンター展示会(令和2年2月)



多々良沼野鳥観察棟展示会(令和2年2月)



「里沼」フレーム切手発売(令和2年3月)



「里沼」PRツール市内設置(令和2年2・3月)



「里沼」観光ガイドブック発行(令和2年3月)



東京電機大学との連携事業(令和元年12月)



里沼ランドナビゲーター育成講座(令和元年12月、令和2年1月)



茂林寺展示会(令和2年3月)



第二資料館モスリン展示会(令和2年3月)



つつじ映像学習館「里沼」新作映像(令和2年4月)



「里沼」関連商品開発支援(令和2年4月)

館林市のストーリー「里沼(SATO-NUMA) — 『祈り』『実り』『守り』の沼が磨き上げた館林の沼辺文化—」が、文化庁「日本遺産」に認定されてから丸一年が経ちました。この一年間は構成文化財関係者やボランティアなど地域住民の皆さんや、様々なアイデアを実現化してくれる講師の先生や民間事業者さんなど本当にたくさんの人々に支えられた一年でした。「里沼」が日本遺産となったことで、地域の人々にシビックプライドが芽生えはじめ、少しずつですが色々な地域活性化の取組みが動き始めています。また、「里沼」を訪れてみたいという観光のお客さんも徐々に増えていることは私たちの喜びです。今般の新型コロナの影響で、本来は「ぜひ館林市に来てください」と働きかける立場でありながら、里沼の素敵な情報や楽しいイベントを提供できず心苦しい毎日が続いています。一方で、このような未曾有の状況でも、心の癒しを求めてたくさんの人々が里沼に来ていたようで、館林市の「里沼」が不変の価値を持っていることに改めて気づかされました。落ちつきましたら、ぜひ皆さんも館林市の「里沼」を体感しにお越しください！【館林市日本遺産プロジェクト】